

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J
版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07
改訂日: 2020/06/17

1. 化学品及び会社情報

製品情報

化学品の名称 : アサヒシールLM 主剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 : 旭化工株式会社
住所 : 大阪府東大阪市高井田西2-2-6
担当部門 : 技術開発部
電話番号 : 06-6782-8683
FAX番号 : 06-6782-8685

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 接着剤および/またはシーラント

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

生殖細胞変異原性 : 区分 2
発がん性 : 区分 1A
生殖毒性 : 区分 1B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (呼吸器)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (呼吸器)

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 2

※記載のないものは“区分に該当しない”または“分類できない”

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350 発がんのおそれ。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H370 臓器 (呼吸器) の障害。
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (呼吸器) の障害。
H402 水生生物に有害。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き :

安全対策:
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07

改訂日: 2020/06/17

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

追加ラベル

この混合物に含まれる、急性経口毒性が未知である成分の割合： 3 %

この混合物に含まれる、急性経皮毒性が未知である成分の割合： 19 %

この混合物に含まれる、急性吸入毒性が未知である成分の割合： 56 %

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名(別名)	CAS番号	含有量	官報公示整理番号
鉱物油	非公開	59%	化審法:既存
アスファルト	非公開	1.3%	化審法:既存
水酸基末端ポリブタジエン	非公開	18%	化審法:既存
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	2.0%	化審法:3-1307
フタル酸ジイソノニル	28553-12-0	0.4%	化審法:3-1307
石油系炭化水素	非公開	0.9%	化審法:既存
カーボンブラック	1333-86-4	0.7%	化審法:対象外
滑石 (タルク)	非公開	16%	化審法:既存
ニッケル化合物	非公開	0.3%	化審法:既存
エチルベンゼン	100-41-4	<0.1%	化審法:3-28 化審法:3-60
キシレン	1330-20-7	<0.1%	化審法:3-3 化審法:3-60

ニッケル化合物中のニッケルの含有量: 製品中 < 0.1%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : ばく露したとき、又は気分が悪いとき: 新鮮な空気のある所へ移動する。
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。
洗浄中は目を大きく開ける。
多量の水で十分に、まぶたの裏まですすぐ。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。

患者を暖かく安静にしておく。
直ちに医師に診察／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。

応急措置をする者の保護に必要な任意事項 : 適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 霧状水
泡消火剤
粉末消火剤
二酸化炭素 (CO2)
乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 棒状水

火災時の特有の危険有害性 : 加熱ないし火災により有毒ガスが放出される。

有害燃焼生成物 : 硫黄酸化物
一酸化炭素
二酸化炭素 (CO2)

特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
適切な保護具を着用すること。
汚染区域に標識を立て、許可のない人が近づかないようにする。
こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。
人々を即時に安全な場所に避難させる。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 設備対策を行い、保護具を着用する（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
通気の良い場所で使用すること。
熱、火花、炎から離しておく。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。
容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。
吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 接触回避 : 混触危険物質（項目 10 を参照）から離しておく。
- 衛生対策 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

- 安全な保管条件 : 国の規則に従って保管すること。
乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
熱、火花、炎から離しておく。
施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 混触禁止物質 : 項目 10 を参照。
- 安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
滑石	14807-96-6	TWA	0.1 本毎立方センチメートル	ACGIH
		TWA (呼吸濃度)	2 mg/m ³	ACGIH
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	OEL-M	5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 生殖毒性物質 第1群: ヒトに対して生殖毒性を示すことが知られている物質, 生殖毒性では妊娠期など高感受性を示す時期があり、本物質については現行の許容濃度設定の根拠となったものよりも低い曝露レベルで影響が認められていることから、現行の許容濃度や生物学的許容値以下の曝露レベルでも注意が必要と考えられるもの、発がん性分類 第2群B: 証拠が比較的十分でない物質			
		TWA	5 mg/m ³	ACGIH
アスファルト	8052-42-4	TWA (煙、吸入可能濃度)	0.5 mg/m ³ (ベンゼン可溶性エアロゾル)	ACGIH
カーボンブラック	1333-86-4	TWA (吸入濃度)	3 mg/m ³	ACGIH
ニッケル化合物	-	OEL-M (総粉じん)	0.1 mg/m ³ (ニッケル)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 生殖毒性物質 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 発がん性分類 第2群B: 証拠が比較的十分でない物質			
キシレン	1330-20-7	ACL	50 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 217 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 生殖毒性物質 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質			
		TWA	100 ppm	ACGIH
		STEL	150 ppm	ACGIH
エチルベンゼン	100-41-4	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 217 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 生殖毒性物質 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質, 発がん性分類 第2群B: 証拠が比較的十分でない物質			

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

初回作成日: 2020/01/07

版番号: 2.0

改訂日: 2020/06/17

		TWA	20 ppm	ACGIH
--	--	-----	--------	-------

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
キシレン	1330-20-7	総メチル馬尿酸 (o-, m-, p-三異性体の総和)	尿	週の後半の作業終了時	800 mg/l	日本産業衛生学会

設備対策 : 作業場所の近辺に洗眼器および安全シャワーを設けること。密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具 : 防毒マスク (有機ガス用)

手の保護具 : 保護手袋

眼、顔面の保護具 : 安全ゴーグル
保護眼鏡
保護面

皮膚及び身体の保護具 : 保護服
安全帽
保護長靴
保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

形状 : 粘稠

色 : 黒色

臭い : 溶剤臭

融点/凝固点 : データなし

沸点, 初留点及び沸騰範囲 : 386 °C (推定値)

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限/可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限/可燃下限値 : データなし

引火点 : 184.6 °C (推定値)

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

粘度

動粘性率 : データなし

溶解度

水溶性 : データなし

溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	
比重	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 硫酸化物, 一酸化炭素, 二酸化炭素 (CO2)

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない

製品:

データなし

成分:

鉱物油 A:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット): > 5 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト 備考: この用量では死亡は観察されていない。
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg 備考: この用量では死亡は観察されていない。

滑石:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
-----------	-----------------------------

石油系炭化水素:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
-----------	-----------------------------

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07

改訂日: 2020/06/17

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 2.18 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

カーボンブラック:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 8,000 mg/kg
急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg

フタル酸ジイソノニル:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 10,000 mg/kg
急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 3,160 mg/kg
備考: この用量では死亡は観察されていない。

キシレン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 3,500 - 8,800 mg/kg
急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 6350 - 6700 ppm
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 1,700 mg/kg

エチルベンゼン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 3,500 mg/kg
急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 17.34 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 15,400 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

分類できない

製品:

データなし

成分:

フタル酸ジイソノニル:

種 : ウサギ
結果 : 僅かな刺激
種 : ヒト
方法 : パッチテスト
結果 : 皮膚刺激なし

キシレン:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

分類できない

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07

改訂日: 2020/06/17

製品:

データなし

成分:

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル):

結果 : 軽度の眼刺激

アスファルト:

結果 : 眼に刺激性。

フタル酸ジイソノニル:

種 : ウサギ

結果 : 僅かな刺激

キシレン:

種 : ウサギ

結果 : 眼に刺激性。

エチルベンゼン:

種 : ウサギ

結果 : 軽度の眼刺激

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

製品:

データなし

成分:

フタル酸ジイソノニル:

試験タイプ : パッチテスト

種 : ヒト

結果 : 陰性

試験タイプ : ビューラー法

種 : モルモット

結果 : 陰性

試験タイプ : ビューラー法

種 : モルモット

結果 : 弱い感作性物質

生殖細胞変異原性

区分2

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J
版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07
改訂日: 2020/06/17

製品:

データなし

成分:

アスファルト:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vivo 試験で、突然変異誘発性が示された

フタル酸ジイソノニル:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
試験タイプ: MLA (マウスリンフォーマ試験)
結果: 陰性
試験タイプ: 染色体異常試験
結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 染色体異常試験
種: ラット
結果: 陰性

キシレン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
試験タイプ: 染色体異常試験
結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 優性致死試験
種: ラット
結果: 陰性
試験タイプ: 小核試験
種: マウス
結果: 陰性
試験タイプ: 染色体異常試験
種: ラット
結果: 陰性

発がん性

区分1A

製品:

データなし

成分:

鉱物油A:

発がん性 - アセスメント : ヒトに対して発がん性の可能性のある物質

フタル酸ビス(2-エチルヘキシル):

発がん性 - アセスメント : 発がん性影響の限られた証拠がある。

アスファルト:

発がん性 - アセスメント : 動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07

改訂日: 2020/06/17

カーボンブラック:

発がん性 - アセスメント : ヒト発がん性としては格づけできない。

キシレン:

備考 : IARC Group 3

備考 : ACGIH A4

エチルベンゼン:

発がん性 - アセスメント : 動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

生殖毒性

区分1B

製品:

データなし

成分:

鉱物油A:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると性的機能および繁殖力および/または発育への悪影響があることが一部立証されている。

フタル酸ジイソニル:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると発育に悪影響があることが一部立証されている。

キシレン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると性的機能および繁殖力および/または発育への悪影響が明確にある。

エチルベンゼン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると性的機能および繁殖力および/または発育への悪影響が明確にある。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分1(呼吸器)

製品:

データなし

成分:

滑石:

標的臓器 : 呼吸器
アセスメント : 臓器の障害。

アスファルト:

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

キシレン:

標的臓器 : 中枢神経系, 呼吸器, 肝臓, 腎臓

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J
版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07
改訂日: 2020/06/17

- アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、区分1に分類される。
- アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、麻酔性効果を伴う区分3に分類される。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分1(呼吸器)

製品:

データなし

成分:

滑石:

- 標的臓器 : 呼吸器
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

アスファルト:

- アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分1に分類される。

キシレン:

- 標的臓器 : 神経系, 呼吸器
アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分1に分類される。

誤えん有害性

分類できない

製品:

データなし

成分:

キシレン:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分2

製品:

データなし

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

初回作成日: 2020/01/07

版番号: 2.0

改訂日: 2020/06/17

成分:**鉱物油A:**

急性毒性

- ミジンコ等の水生無脊椎動物に
対する毒性 : EL50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 35.9 mg/l
曝露時間: 48 h
備考: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
- 藻類/水生植物に対する毒性 : EL50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (旧: セレナストラム) (緑藻類)): 18.8 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

長期間毒性

- ミジンコ等の水生無脊椎動物に
対する毒性 (慢性毒性) : NOELR (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.1 mg/l
曝露時間: 21 d
備考: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

ニッケル化合物:

急性毒性

- 魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

キシレン:

急性毒性

- 魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 3.3 mg/l
曝露時間: 96 h

エチルベンゼン:

急性毒性

- ミジンコ等の水生無脊椎動物に
対する毒性 : LC50 (*Crangon franciscorum* (ベイシュリンプ)): 0.4 mg/l
曝露時間: 96 h
- 藻類/水生植物に対する毒性 : NOEC (*Skeletonema costatum* (スケルトネマ属)): 4.5 mg/l
曝露時間: 96 h

長期間毒性

- ミジンコ等の水生無脊椎動物に
対する毒性 (慢性毒性) : NOEC (*Ceriodaphnia dubia* (ニセネコゼミジンコ)): 0.956 mg/l
曝露時間: 7 d

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

版番号: 2.0

初回作成日: 2020/01/07

改訂日: 2020/06/17

残留性・分解性

成分:

フタル酸ジイソノニル:

生分解性 : 生物化学的酸素要求 (量)
生分解: 74 %
結果: 易分解性

キシレン:

生分解性 : 結果: 易分解性

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

分類できない

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 : UN 3082
国連輸送名 : Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s.
(containing mineral oil)

国連分類 : 9
 容器等級 : III
 ラベル : 9
 梱包指示 (貨物機) : 964
 梱包指示 (旅客機) : 964
 環境有害性 : 該当

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : UN 3082
 国連輸送名 : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
 (containing mineral oil)

国連分類 : 9
 容器等級 : III
 ラベル : 9
 EmS コード : F-A, S-F
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 該当

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送 : 消防法等の規定に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
 航空輸送 : 航空法の規定に従う。
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
 に行う。
 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
 移送時にイエローカードを保持する。
 火気厳禁

応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令**該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報****労働安全衛生法****名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名又は一般名
鉱油
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)
アスファルト
カーボンブラック
ニッケル及びその化合物

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名又は一般名
鉱油
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J
版番号: 2.0初回作成日: 2020/01/07
改訂日: 2020/06/17

アスファルト
ニッケル及びその化合物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名又は一般名	含有率 (%)
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)	2.0

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法

第4類, 第三石油類, 非水溶性液体, (2000 リットル), 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

化学名又は一般名
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)
エチルベンゼン
キシレン

船舶安全法

危規則第2,3条危険物告示別表第1: 有害性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

個品輸送 : 海洋汚染物質

インベントリー

日本	化審法:	製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
----	------	-----------------------------------

各国・地域インベントリー

製品中のすべての成分は下記のインベントリーに記載されている

国/地域	規制/リスト	対応
アメリカ合衆国 (米国)	TSCA - 有害物質規制法化学物質インベントリー (active)	no
カナダ	DSL - 国内物質リスト	no
オーストラリア	AICS - オーストラリア化学物質インベントリー	no
韓国	KECI - 韓国既存化学物質目録	no
中国	IECSC - 中国現有化学物質名録	no
ニュージーランド	NZIoC - ニュージーランド化学品インベントリー	no

アサヒシールLM 主剤

整理番号: P190434J

初回作成日: 2020/01/07

版番号: 2.0

改訂日: 2020/06/17

フィリピン	PICCS - フィリピン化学品及び化学物質インベントリー	no
台湾	TCSI - 台湾既有化学物質台帳	no

更に情報が必要な場合は、ご連絡ください。

16. その他の情報**詳細情報**

引用文献 : 自社データ
日本産業規格 (JIS) Z7252:2019
日本産業規格 (JIS) Z7253:2019
その他文献調査等により得られた情報

免責条項

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。